



小岩井農場

F4号 水彩
山崎竹夫（大19）

コロナ感染の波間を縫つて、岩手県の小岩井農場でスケッチしてきました。

小岩井農場は、日本の鉄道の父とも言われている長州出身の井上勝が荒涼たる当地を開墾しようと、当時三菱財閥の小野義眞に相談し、二代目三菱社長岩崎彌之助の出資賛同を得て明治24年（1891年）農場開場となつたものです。この関係者3名、小野・岩崎・井上の頭文字をとつて「小岩井農場」と名付けられた歴史的価値ある農場です。

大自然に囲まれマスク無しで早描きスケッチしました。